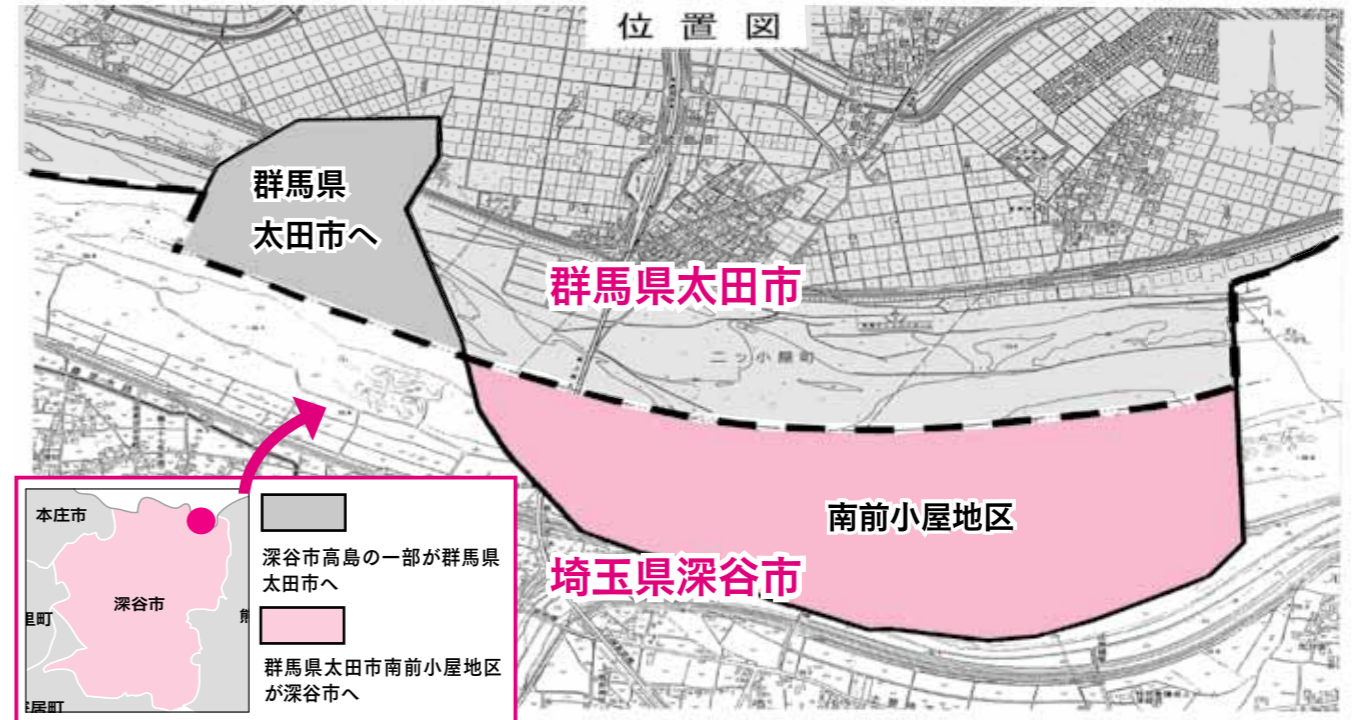


南前小屋地区が深谷市へ ようこそ深谷市へ♪

1月7日、利根川の南側に位置する群馬県太田市の南前小屋地区が深谷市となり、利根川の北側に位置する深谷市高島の一部が群馬県太田市となること、総務大臣によって官報に告示され、3月1日に深谷市と太田市との境界が、正式に変わります。



年月	できごと
平成22年3月	深谷市へ正式編入
平成22年1月	総務大臣が境界変更を決定、告示
平成21年11月	深谷市・太田市・埼玉県・群馬県が総務大臣に境界変更を申請
平成21年10月	両県議会が境界変更議案を議決
平成21年7月	両市長が両県知事に総務大臣への境界変更申請を依頼
平成21年6月	両市議会が境界変更議案を議決
平成18年9月	深谷市議会、太田市議会が請願を採択
平成18年7月	群馬県太田市南前小屋地区住民が深谷市への編入を希望して、深谷市議会、太田市議会に南前小屋地区の深谷市編入に関する請願書を提出

深谷市と群馬県太田市の境界は、かつて氾濫を繰り返した利根川で区切られ、両市の一部区域が分断され、お互いの対岸に残りました。このため、住民などの関係者は、日常生活や土地利用上の支障が生じていました。南前小屋地区のかたがたは、明戸小・中学校へ通学するなど、生活圏は深谷市となっており、南前小屋地区のかたがたの希望により、今回、深谷市へ編入が実現しました。

境界変更に至るこれまでの経緯

境界変更で住所はどうなるの？
A 次の通り、住所表示は変わります。

南前小屋地区の住所表示
現在の住所表示
 「群馬県太田市前小屋町」
 「群馬県太田市二ツ小屋町」
新しい住所表示
 「埼玉県深谷市前小屋」
 「埼玉県深谷市二ツ小屋」

どのくらいの面積、人口が変化するの？
A 面積、人口は次の通りです。

面積・人口など（平成21年6月1日現在）

区分	深谷市へ編入	太田市へ編入	増減
面積	約119.6ha	約36.2ha	約83.4ha
人口	140人	0人	140人
世帯	38世帯	0世帯	38世帯

そもそも、なぜ、このような地形になったの？
A 明治9年（1876年）に、熊谷県を廃止し、埼玉県に合併したことで、現在の県域ができました。その後、氾濫を繰り返した利根川を、大正時代に大改修し、現在の川の形となりました。この時、県境の変更は行われなかったため、このような形になりました。

A 県境の境界変更って、珍しいの？
それと県の関係市町村と県の議決を経て、

南前小屋地区って、どんなの？
国道17号バイパス（上武道路）石塚交差点の北にある、小山川橋を渡ったところです。

総務大臣に申請し、ようやく境界変更できます。埼玉県内では昭和36年（1961年）に、当時の大和町（現和光市）の一部と東京都練馬区が、境界変更されて以来、49年ぶりの境界変更となります。



このたびの境界変更は、群馬県尾島町（現在の太田市）当時から、取り組んできたものでございます。日常生活において、児童・生徒が本市の小・中学校に通うなど、生活圏が本市側であった南前小屋地区の地元住民のかたがたの総意による願いに端を発し、地元ならびにさまざまな関係機関などのご協力の下、多岐にわたる調整を経て、正式決定に至ったものであります。

関係者の皆様、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。引き続き、境界変更後の住民生活に支障を来さぬよう、これまで重ねてまいりました行政サービスの移行作業などについて、万全を期してまいります。
深谷市長 新井家光



南前小屋地区から撮影



小山川橋から撮影（深谷市側）

	不動産登記事務	商業法人登記事務
境界変更により埼玉県深谷市前小屋、二ツ小屋となる地域（旧群馬県太田市前小屋町、二ツ小屋町の一部）	さいたま地方法務局 熊谷支局	
境界変更により群馬県太田市大館町となる地域（旧埼玉県深谷市高島の一部）	前橋地方法務局 太田支局	前橋地方法務局 法人登記部門

	不動産登記事務	商業法人登記事務
境界変更により埼玉県深谷市前小屋、二ツ小屋となる地域（旧群馬県太田市前小屋町、二ツ小屋町の一部）	前橋地方法務局 太田支局	前橋地方法務局 法人登記部門
境界変更により群馬県太田市大館町となる地域（旧埼玉県深谷市高島の一部）	さいたま地方法務局 熊谷支局	

【法務局からのお知らせ】
境界変更対象地域の不動産登記、商業法人登記事務の取り扱う法務局について
3月1日（月）〜6月4日（金）

6月7日（月）